

# つくば市記者会 御中

発信日：平成31年（2019年）2月18日（月）

発信元：つくば市保健福祉部社会福祉課こども未来室

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

## 「つくば市こども未来プラン」を策定しました



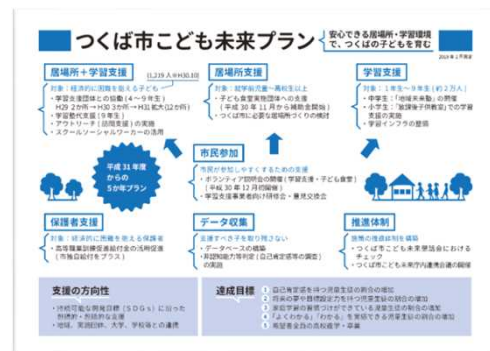
～安心できる居場所・学習環境で、つくばの子どもを育む～

つくば市において、就学援助や生活保護の対象となっている1～9年生の児童生徒は、平成30年度に1,219人に上り、平成29年度の調査では、所得水準によって学校以外での塾等の学習環境に違いが存在する傾向が見られました。

現在、市内で提供できている学習支援は限定的であり、安心できる居場所づくりを含めて施策の充実を図る必要があることから、必要となる政策を中長期的な視野に立ち部局横断的に実行するため、「つくば市こども未来プラン」を平成31年2月に策定しました。

### 1 経過

- (1) 教育局・こども部・保健福祉部の連携会議を開催  
こども未来庁内連携会議（8～9月 計3回）
- (2) 有識者・市民等を含めた懇話会を開催  
こども未来懇話会（10月～12月 計4回）
- (3) パブリックコメントを実施  
平成31年1月4日（金）～2月4日（月）の32日間
- (4) 公表  
平成31年2月18日（月）、市ホームページで公表



【こども未来プラン概要版】  
(添付資料)

### 2 ヴィジョン

「安心できる居場所・学習環境で、つくばの子どもを育む」

### 3 プランの達成目標

- ①自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加
- ②将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加
- ③家庭学習の習慣づけができていない児童生徒の割合の増加
- ④「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加
- ⑤希望者全員の高校進学・卒業

# つくば市こども未来プラン

安心できる居場所・学習環境  
で、つくばの子どもを育む

平成31年(2019年)  
2月策定

## 居場所+学習支援

(1,219人※H30.10)

- 対象：経済的に困難を抱える子ども
- ・学習支援団体との協働(4～9年生)  
H29 2か所→H30 3か所→H31 拡大(12か所)
  - ・学習塾代支援(9年生)
  - ・アウトリーチ(訪問支援)の実施
  - ・スクールソーシャルワーカーの活用

## 居場所支援

- 対象：就学前児童～高校生以上
- ・子ども食堂実施団体への支援  
(平成30年11月から補助金開始)
  - ・つくば市に必要な居場所づくりの検討

## 学習支援

- 対象：1年生～9年生(約2万人)
- ・中学生：「地域未来塾」の開催
  - ・小学生：「放課後子供教室」での学習支援の実施
  - ・学習インフラの整備

## 市民参加

- 市民が参加しやすくするための支援
- ・ボランティア説明会の開催(学習支援・子ども食堂)  
(平成30年12月初開催)
  - ・学習支援事業者向け研修会・意見交換会

平成31年度  
からの  
5か年プラン

## 保護者支援

- 対象：経済的に困難を抱える保護者
- ・高等職業訓練促進給付金の活用促進  
(市独自給付をプラス)

## データ収集

- 支援すべき子を取り残さない
- ・データベースの構築
  - ・非認知能力等判定(自己肯定感等の調査)の実施

## 推進体制

- 施策の推進体制を構築
- ・つくば市こども未来懇話会におけるチェック
  - ・つくば市こども未来庁内連携会議の開催

## 支援の方向性

- ・持続可能な開発目標(SDGs)に沿った包摂的・包括的な支援
- ・地域、実施団体、大学、学校等との連携

## 達成目標

- 1 自己肯定感を持つ児童生徒の割合の増加
- 2 将来の夢や目標設定力を持つ児童生徒の割合の増加
- 3 家庭学習の習慣づけができていない児童生徒の割合の増加
- 4 「よくわかる」「わかる」を実感できる児童生徒の割合の増加
- 5 希望者全員の高校進学・卒業